

市町村名	大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	大宜味村観光情報発信整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章 - 3 - (1) - ア	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 8 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	北部圏域 - 1 - (1)	
事業内容	観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、閲覧者に対し、見やすいホームページの作成、誘客イベント開催を開催し、大宜味村らしい観光情報発信を展開し誘客を促進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額	7,505	13,811			
		(c)増減額(b-a)	6,790	11,781			
		(d)繰越額	▲ 715	▲ 2,030			
		A.計(b+d)	-				
		B.執行済額	6,790	11,781			
		うち交付金充当額	6,590	11,781			
		次年度繰越額	3,792	9,424			
		執行率(%) (B/A)					
	予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	村観光情報・村ホームページ機能強化整備 (多言語化・村VP(ビデオパッケージ)・観光情報コンテンツの作成)	目 標	(-)	(観光情報・村ホームページの機能強化整備)	()	()	
		実 績	-	観光情報・村ホームページの機能強化整備			
	誘客イベント開催支援(産業まつり)	目 標	(3イベント)	(3イベント)	()	()	
		実 績	3イベント	3イベント			
達成状況説明	【観光情報ホームページ】 ・観光客をターゲットとしたコンテンツ「大宜味村観光ナビ」を作成、その他にもスマートフォン、facebook 等との連携などを織り交ぜることで、国内外に本村らしさが伝わり、何度も訪れたくなるような魅力的な情報が提供できるホームページを作成した。なお、村の自慢や特産品については多言語化(7言語)のページも作成し、海外へ情報発信できるよう対応した。 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 ・産業まつり:誘客増のための、新規2イベント(ステージイベント→シークワサー苗公開入札を実施。 会場活用イベント→ゆるキャラVS保育園生の玉入れ対決を実施。 講演イベント→パネルディスカッション「地域資源を活用した事業化への取組み」を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	観光に特化したホームページ作成・公開 (多言語化・村VP(ビデオパッケージ)・観光情報コンテンツの作成)	目 標	()	()	(ホームページ作成・公開)	()	()
		実 績			ホームページ作成・公開		
	産業まつり参加者数:3,000名	目 標	()	(3,000)	(3,000)	()	(H24～H28 累計12,000)
		実 績		4,000	4,000		
	進捗状況説明	【観光情報ホームページ】 ・観光客をターゲットとしたコンテンツ「大宜味村観光ナビ」を作成、その他にもスマートフォン、facebook 等との連携などを織り交ぜることで、国内外に本村らしさが伝わり、何度も訪れたくなるような魅力的な情報が提供できるホームページを作成した。なお、村の自慢や特産品については多言語化(7言語)のページも作成し、海外へ情報発信できるよう対応した。【URL】:http://www.vill.ogimi.okinawa.jp/index.html 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 ・産業まつり:前年より引き続き友好交流「市」「町」である、宮城県石巻市と福島県西会津町を招いての特産品販売や、ステージイベントを目標に、村外来客者も多く来場した。また、講演イベントとして、パネルディスカッション「地域資源を活用した事業化への取組み」を開催し、村内来客者にも好評だった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【観光情報ホームページ】 ・一般的にホームページの公開アクセス数は上昇する傾向があるが、月日の経過とともにアクセス数が伸び悩む傾向があり、今回整備したホームページも同様なケースが起こる懸念がある。 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 本村は大規模なイベント施設が無く、悪天候対策や、来場者駐車スペースの十分な確保が常に課題である。 大宜味村らしいイベントを定着化させる事により、村外来場者の固定化を促すため、新イベントの定着化によるイメージ付けが課題である。 展示会場(コーナー)におけるシークワサーの紹介の充実農産物をPRする展示コーナーのスペースでの、シークワサーの系統や成分表などの充実が課題である。	【観光情報ホームページ】 ・アクセス数の維持・向上を図るための対策が必要である。 ・HP閲覧者や村民、そのほか観光事業者などと情報発信の方法やデザイン性などについて意見を徴収し、改善する必要性について常に検証を図る。 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 開催場所については、村内で会場周辺で十分な駐車スペースを確保することが困難なため、シャトルバスや、駐車場人員動員の増による、スムーズな誘導・駐車を検討していく。 シークワサー苗公開入札など大宜味村らしいイベントを企画し、定着させることにより村外来場者の固定化を促す。 大宜味村シークワサー産地振興協議会とも連携し、村の特産物であるシークワサーに関する展示物を充実させる事を検討する。
今後の取り組み方針		
【観光情報ホームページ】 ・Youtubeを活用した動画の掲載や、facebookを使った情報公開を促進させ、村観光情報・村ホームページの知名度及びアクセス数の維持・向上を図る。 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 開催場所の設定については引き続き、現会場を軸とし、埋立地である結の浜の空き地スペースを有効活用し、駐車場スペースの確保を行う。 本年度開催したシークワサー苗公開入札をメインに、次年度も大宜味村らしいイベントを企画し定着化させ、村外来場者の固定化を促す。 展示コーナーについては、大宜味村シークワサー産地振興協議会とも連携し、村の特産物であるシークワサーに関する展示物を充実させる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	
		13,130	11,780	9,424	
				市町村負担金	
				2,356	
				交付対象外経費	
				1,350	
大宜味村 11,780千円 委託料 10,130千円 株式会社アークス 10,130千円 観光情報ホームページ製作委託 補助金 1,650千円 大宜味村産業まつり実行委員会 1,650千円 誘客イベント開催支援 (会場・テント設営費、放送費、 芸能出演料等) 村負担分(交付対象外経費) 1,350千円					
資金の流 れ、使 途、費 用、	評価	点 検 項 目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		【観光情報ホームページ】 ・委託業者は指名型プロポーザル方式により、Web作成における過去実績やデザイン性の実績などを考慮した上で選定しており、妥当であったと考えている 【誘客イベント開催支援(産業まつり)】 ・予算規模については適正な規模となっている。また費用・使途についても必要なものに限定されており適切なものとなっている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	エコツーリズム人材育成計画作成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章 - 3 - (1) - ア	
担当部課名	企画観光課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	北部圏域 - 1 - (1)	
事業内容	本村は、世界自然遺産候補地である琉球弧の中核地「やんばる地域」に在している。本村の自然・文化資源を維持しつつ、その魅力を十分に発信して独特かつ、「持続可能な観光地」にするためには、長期的かつ総合的な「人材育成」が重要である。 観光の振興を図る上で、エコツーリズム推進のため地域人材の育成を図り、ガイドやその指導者になれる認定制度を設け、北部やんばる地域の世界遺産登録に寄与できる体制整備と大宜味(やんばる)らしいエコツーリズムを実践する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額	7,938	5,500			
		(c)増減額(b-a)	3,955	5,145			
		(d)繰越額	▲ 3,983	▲ 355			
		A.計(b+d)	-				
	B.執行済額		3,955	5,145			
	うち交付金充当額		2,845	4,116			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		89.9%	100.0%			
	予算の状況の説明		・当初、見積もりによる市場価格を予定価格としてプロポーザル方式による入札を実施した。不要額が61千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	大宜味村エコツーリズム人材育成計画の作成 (組織体制、基本構想・方針、基本計画)	目 標	(基礎調査及び 方針の策定)	(1講座 1ツアー)	()	()	
		実 績	基礎調査及び方針の 策定	1講座 1ツアー			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	・先進地(北海道)より有識者を招へいし、『ワークショップ型講演会』を実施開催した。 ・実際に1つのエリア(屋古集落)にてエコツアーを模擬的に実施した。 ・上記の活動結果をもとに有識者による計画検討委員会を3回開催した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	人材育成方法の確立 エコツーリズム推進体制の確立 実行計画の作成	目 標	(方針未策定)	(人材育成方 針の策定)	(基本計画 策定)	()	()
		実 績		人材育成方針の 策定	基本計画策定		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	昨年度の事業成果を踏まえ、地元NPO事業者と協同で計画を策定。当初、認定制度の導入や教本作成などを視野に入れ事業スタートを行ったが、実践・視察・検討を踏まえる上で、実情にそぐわず効果も期待できないと予想されたことから、当初予定を変更し、実践を通じた人材育成を推進することがより効果的とされた。 本事業では、人材育成のための計画作成をはじめ、エコツーリズム推進体制の確立や官民の役割など様々な意見が検討され、大宜味村の実態に合う素晴らしい計画を策定することができた。委託先が企業コンサルタントではなく地元NPO事業者であったことから、今後におけるエコツーリズム人材育成を柱においたエコツーリズム推進・実践に向け、大きな期待ができる結果となった。 【URL】 http://www.vill.ogimi.okinawa.jp/administrative_info/#administrative_info04					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・エコツーリズムに対する知識や経験をもつ地域住民がまだまだ少ない。 ・現状では、机上での課題は多く意見として上がったが、実際上の現場での顧客のニーズをさらに探る必要がある。 ・エコツアーを実施した屋古集落の住民意識に良い変化が見られる。さらなる連携を強化し、エコツーリズム環境を推進する。 ・地域におけるエコツーリズム事業者の数が少なく、今後において行政自体がエコツーリズムを実践するわけにはいかないため、多くの村民の自発的な起業を誘発する必要がある。	・現場経験を通し、エコツーリズムの基本姿勢を学び育成する必要がある。 ・起業しやすい環境を整備するため、官における助成事業等の実施を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
本事業において官民の組織体制は確立された。平成26年度以降においては、エコツーリズムの実践に向け、地元NPO法人が主体となり人材育成実行計画を検討する。また、26年度実践において出てくる課題を検証し、行政としてどのようなバックアップができるか検証していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,145</td><td>5,145</td><td>4,116</td><td>1,029</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,145	5,145	4,116	1,029	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,145	5,145	4,116	1,029											
大宜味村 5,145千円 → 委託料 5,145千円 → NPO法人やんばる舎 5,145千円 (大宜味村エコツーリズム人材育成計画策定委託業務)														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者はプロポーザル方式により地域性、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		1- 結の浜公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第5章 - 3 - (1) - ア	
担当部課名		企画観光課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ~ 2 6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		北部圏域 - 1 - (1)	
事業内容		平成19年度に完成した公有水面埋立地「結の浜」において、サンセットと緑の山々などの良好な自然環境を生かし、観光振興の受入体制を強化するため、村民や観光客等が交流できる拠点公園を整備する。						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	262,511	209,000			
			(b)予算現額	266,696	209,000			
			(c)増減額(b-a)	4,185				
			(d)繰越額	-				
			A.計(b+d)	266,696	209,000			
		B.執行済額		263,987	204,674			
		うち交付金充当額		211,189	163,739			
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)		99.0%	97.9%			
予算の状況の説明		不要額が4,326千円発生しているが、工事請負費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		結の浜公園整備工事の実施(造成・植栽)	目 標	(設計・造成・遊具 設置・駐車場等)	(造成・植栽)	()	()	
			実 績	設計・造成・遊具設置・ 駐車場等	造成・植栽			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状況 説明	平成25年度事業として、埋立地中央部の公園エリア(海岸沿い)の造成・植栽工事を実施した。オープン後、多くの住民や観光客が利用している他、小学校の遠足にも活用されている。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
		結の浜公園整備工事の実施(造成・植栽)	目 標	()	(設計・造成・遊 具設置・駐車 場等)	(造成・植栽)	()	()
			実 績		設計・造成・遊具設 置・駐車場等	造成・植栽		
		〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進 捗 状 況 説 明	平成25年度事業として、造成・植栽工事を実施した。オープン後、多くの住民や観光客が利用している他、小学校の遠足にも活用されている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 公園オープン後、多くの住民や観光客が公園を利用しており、公園整備の効果を実感しているが、週明けに現場を確認するとゴミの投棄が見受けられる。 - 今回整備した公園・緑地エリアは埋立地中央部のみであるため、埋立地北側及び南側についても、一体的に整備する必要がある。	- 既に住民・観光客・遠足など多くの方々に利用されているが、ゴミ投棄対策なども検討し、気持ちよい公園環境をつくる必要がある。 - 埋立地北側及び南側についても、一体的に整備することにより、更なる活用が期待できる。
今後の取り組み方針		
- 村内外へ向けPRを行い、利用者を増やしていく。 - ゴミ投棄を防ぐ方法を検討し、気持ちの良い公園環境づくりを行う。 - 埋立地全体を含めた、公園・植栽計画の検討を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>204,674</td><td>204,674</td><td>163,739</td><td>40,935</td><td></td></tr> </tbody> </table> 大宜味村 204,674千円 工事請負費 204,674千円 (株)丸孝組 101,029千円 (有)山城建設 103,645千円 植栽工事(1工区) 植栽工事(2工区)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	204,674	204,674	163,739	40,935	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
204,674	204,674	163,739	40,935											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	植栽工事については、指名競争入札により決定しており、妥当だと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2- 学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 5 - (3) - ア		
担当部課名		教育委員会		事業実施(予定)年度 平成 2 5 ~ 2 7 年度		自ら学ぶ意欲を育む教育の充実		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 3 - (1)		
事業内容		将来の大宜味村を担う大宜味村の児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a)当初予算額		10,976			
			(b)予算現額		10,976			
			(c)増減額(b-a)					
			(d)繰越額					
			A.計(b+d)		10,976			
		B.執行済額			10,910			
		うち交付金充当額			8,728			
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)			99.4%			
予算の状況の説明		不用額が66千円発生しているが、共済費の残によるものであり、当初計画していた事業内容は計画どおり執行した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		学習支援員配置数 村内小学校4人・中学校1人		目 標	() (4小学校×1人 1中学校×1人)	()	()	
				実 績		4小学校×1人 1中学校×1人		
				目 標	() ()	()	()	
				実 績				
達成状況説明	・村内の各小中学校に1名学習支援員を配置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
		学習支援員 ・村内4小学校各1人=4人 ・1中学校1人配置=1人		目 標	() () (4小学校×1人 1中学校×1人)	()	(4小学校×1人 1小学校×1人)	
				実 績		4小学校×1人 1中学校×1人		
		[参考指標]		目 標	() () ()	()	()	
				実 績				
		進捗状況説明	・村内すべての小中学校に学習支援員を配置することにより児童生徒への指導が充実した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・教員免許保有している学習支援員の確保が困難であり、公募の方法を検討する必要がある。 ・人員については、現在のところ各学校1名で足りているが、支援する生徒の人数により、不足すること考えられる。	・公募方法及び範囲の検討をしていく。
今後の取り組み方針		
・平成26年度募集については国頭教育事務所管轄まで枠を広げ公募する。継続的に支援員の配置をしていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
大宜味村 10,910千円 賃金 9,600千円 学習支援員(5名) 9,600千円 小学校4名 中学校1名 共済費 1,310千円 社会保険料(5名) 1,310千円 小学校4名 中学校1名														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>10,910</td><td>10,910</td><td>8,728</td><td>2,182</td><td></td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	10,910	10,910	8,728	2,182			
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
10,910	10,910	8,728	2,182											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要な支援員の賃金と共済費を支払った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2- 地域支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 5 - (1)	
担当部課名		教育委員会		事業実施(予定)年度	平成 2 5 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	
		沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 - 3 - (1)						
事業内容		学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等のない学校教育を支援する支援員を配置する。						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a)当初予算額		2,195			
			(b)予算現額		2,197			
			(c)増減額(b-a)		2			
			(d)繰越額					
			A.計(b+d)		2,197			
		B.執行済額			2,197			
		うち交付金充当額			1,757			
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)			100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は計画どおり執行した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		地域支援員配置数 村内中学校一校1人配置	目標	()	(1中学校×1人)	()	()	
			実績		1中学校×1人			
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	・中学校に配置し、3年生の不登校生徒を主にサポートしている。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
		不登校者出席率	目標	(27%)	()	(40%)	()	(1中学校×1人)
			実績			44%		
		【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
			実績					
		進捗状況説明	・中学校に配置し、3年生の不登校生徒を主にサポートしている。学校に足が向かない為、火・木曜日は午前9時から12時まで地域の公民館を利用して活動するように働きかけた。村の教育相談員や区長とも連携が容易になっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・職員や支援員によって支援する生徒の状況の認識がまちまちであった。 ・支援員について村内から職員を選出しており、地域の不登校改善に対して積極的に取り組んでいた反面、支援員が保護者と親しい間柄であることからデリケートな内容について意思疎通が難しい状況があった。	・職員間で支援する生徒の情報共有が不十分であるため、職員間の連携を密にし、支援する生徒の情報・状況の共有の方法について検討する。
今後の取り組み方針		
・地域支援員・学校長・養護教諭・担任教諭・村教育相談員・指導主事・学校教育係が連絡会を開催することで情報・状況の共有を図るとともに役割分担をして円滑にサポート出来る体制を構築していく		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		2,197	2,197	1,757	440	
大宜味村 2,197千円 賃金 1,920千円 地域支援員(1名) 1,920千円 中学校1名 大宜味村 2,197千円 共済費 277千円 地域支援員(1名) 277千円 中学校1名						
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目、 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○ 支援員の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要な支援員の賃金と共済費を支払った。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2- 学校教育ICT環境改善整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 5 - (4) - ア	
担当部課名		教育委員会	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 - 3 - (1)	
事業内容		村内小学校4校及び中学校1校にデジタル黒板を整備する。 デジタル黒板設置 1中学校×4台 ・ 4小学校×2台 = 8台						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算の状況	(a)当初予算額		10,080			
			(b)予算現額		9,600			
			(c)増減額(b-a)		▲ 480			
			(d)繰越額					
			A.計(b+d)		9,600			
		B.執行済額			9,503			
		うち交付金充当額			7,602			
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)			99.0%			
予算の状況の説明		不用額が97千円発生しているが、備品購入費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は計画どおりに執行しており適正であったと考えている						
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		デジタル黒板設置数 村内中小学校8台・中学校4台	目 標	()	(小学校 8台 中学校 4台)	()	()	
			実 績		小学校 8台 中学校 4台			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明		・平成26年3月17日 大宜味中学校4台 ・津波小学校2台設置済み ・平成26年3月18日 塩屋小学校2台・大宜味小学校2台・喜如嘉小学校2台設置済み						
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		村内4小学校×各2台 = 8台の配置 村内1中学校×4台 = 4台(4学級に設置)	目 標	(0台)	()	(小学校 8台 中学校 4台)	()	()
			実 績			小学校 8台 中学校 4台		
		[参考指標]		目 標	()	()	()	()
				実 績				
		進捗状況説明		・平成26年3月17日 大宜味中学校4台 ・津波小学校2台設置済み ・平成26年3月18日 塩屋小学校2台・大宜味小学校2台・喜如嘉小学校2台設置済み				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 全ての教員が操作を熟知している状況ではない。 - 電子黒板が導入されて、効率的でわかりやすい授業になっているが、ソフト面(デジタル教科書・教材)での充実を望む意見があった。	- 操作の熟知により授業の発展性がまだ見込まれるため、操作する職員の技術の向上や、電子黒板を取り入れた授業のノウハウを学ぶ必要がある。 - デジタル教科書によって電子黒板を有効に活用されるのが見込まれるため、デジタル教科書や教材の整備を行う。
今後の取り組み方針		
- 定期的に教員への操作講習会を開催する - 今後は教員が有効に活用できるようデジタル教科書等を充実させ、効率的に活用しわかりやすい授業の構築を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>9,503</td><td>9,503</td><td>7,602</td><td>1,901</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	9,503	9,503	7,602	1,901	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
9,503	9,503	7,602	1,901											
大宜味村 9,503千円 備品購入費 9,503千円 株式会社オキジム 9,503千円 (電子黒板設置 12台 内小学校 8台 中学校 4台)														
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先については5社から入札を行い、必要な設備の導入が可能で最安となった業者へ発注を行っている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものののみを購入しており適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	大宜味村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (2) - イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成 2 5 ~ 2 8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた 環境整備		
事業内容	各種団体の生涯学習及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習コーディネーターを配置する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額		2,285			
		(c)増減額(b-a)		2,285			
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)		2,285			
	B.執行済額			2,230			
	うち交付金充当額			1,784			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			97.6%			
	予算の状況の説明		不要額が55千円発生しているが、需用費の残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生涯学習コーディネーター配置数 教育委員会1人	目 標	(-)	(1名)	()	()	
		実 績	-	1名			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	生涯学習コーディネーターの配置(教育委員会1人)を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)
	生涯学習講座開催 講座受講者数	目 標	(7回 83名)	(-)	(10回 100名)	()	(400名)
		実 績		-	10回 211名		
	[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・生涯学習講座(青少年・各種団体(成人者))10回、講座受講者数合計211名。 ・昨年度までは、青少年の学校外活動における体験学習を中心に行なってきたが、生涯学習コーディネーターを配置することにより、新たに各種団体、成人者向け生涯学習講座を加えた10講座を開催し、受講者数が増加した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・青少年は基本的に休日を活用し講座を開催しているが、休日のイベント等日程の調整が課題。各種団体等成人者向け講座においても同様に、他行事等の日程調整(開催日、時間など)が必要であったため、参加者のニーズに応じた講座開催を展開していく為、講座内容も含めたアンケート調査を講座参加者を実施した。	・講座開催の時間帯、開催日、講座内容など、アンケートの集計を参考にし、受講者の要望に対応していく。
今後の取り組み方針		
・青少年の学校外活動においては、平成25年度の課題となっている日程の調整を検討し講座を開催予定。年4回 ・各種団体等成人者向け講座は、アンケートの結果を参考に開催日時、内容等の調整、新たに青少年の活動と合わせた講座を展開していく予定。年6回(内親子体験講座2回)		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,230	2,230	1,784	446	

大宜味村
2,230千円

賃金
1,920千円

生涯学習コーディネーター
1,920千円

教育委員会
1名配置

共済費
262千円

社会保険料

事務費
48千円

需用費

資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○職務を遂行するにあたり、生涯学習、人材育成に熱意を持って活動を行える者を基準に採用した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		3- 大宜味村地域防災計画作成等業務事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ		
担当部課名		総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティーネットの確立 - 10 - (2)			
事業内容		海洋県沖縄でありながら、防災計画等において津波に対する考えが弱小であり、3.11東日本の教訓を受け、村民及び本村を訪れる観光客に安心・安全を提供するため防災計画を見直し、防災マップの作成、海拔表示板の設置も行う。							
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況	(a)当初予算額		9,044				
			(b)予算現額		9,044				
			(c)増減額(b-a)						
			(d)繰越額		-				
		A.計(b+d)			9,044				
		B.執行済額			8,768				
		うち交付金充当額			7,014				
		次年度繰越額							
		執行率(%) (B/A)			96.9%				
予算の状況の説明		・不要額が276千円発生しているが、委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		地域防災計画の見直し	目 標	()	(地域防災計画策定)	()	()		
			実 績		地域防災計画策定				
		防災マップ作成	目 標	()	(3,000部)	()	()		
			実 績		3,000部				
		海拔表示板の設置	目 標	()	(50箇所)	()	()		
			実 績		121箇所				
		達成状況説明	地域防災計画の見直しに関しては、沖縄県に準じながら、大宜味村の地域特性を交え策定し、各関係機関へ配布した。また職員行動マニュアルを作成し全職員へ配布した。 防災マップ作成に関しては、各世帯へ配布し各区长へ説明を行い、公民館へA1サイズの防災マップも提供した。また大宜味村ホームページへもリンクした。 海拔表示板の設置に関しては、村民また観光客・旅行者への津波に対する注意喚起をより促すことを考慮し、沖縄電力電柱への設置も考え、当初計画の50箇所から121箇所へ設置箇所を増やした。						
		成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度
地域防災計画の見直し実施	目 標			(22年度)	()	(防災計画見直し実施)	()	()	
	実 績					県に準じ、防災計画の見直し実施完了			
防災マップ認知度(0%→100%)	目 標			(22年度)	()	(100%)	()	()	
	実 績					100%			
海拔表示板の設置(主要な公共施設、観光地等)	目 標			(0箇所)	()	(50箇所)	()	()	
	実 績					121箇所			
進捗状況説明	地域防災計画の見直しに関しては、沖縄県に準じながら、大宜味村の地域特性を交え策定し、各関係機関へ配布した。また職員行動マニュアルを作成し全職員へ配布した。今後職員・各関係機関への防災に対する意識・行動力が向上すると考えている。 防災マップ作成に関しては、各世帯へ配布し各区长へ説明を行い、公民館へA1サイズの防災マップも提供した。また大宜味村ホームページへもリンクし観光客等村民以外の方への周知も促した。【URL】 http://okimap.hetemi.jp/zooma/oogimi/koukai/ 海拔表示板の設置に関しては、村民また観光客・旅行者への津波に対する注意喚起をより考慮し、沖縄電力電柱への設置も考え、当初計画の50箇所から121箇所へ設置箇所を増やした。								

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	現在の防災計画に沿って防災マップを作成してあるので、地域防災計画の見直しがあれば、計画の内容に合う事業、計画を進めていかなければならない。 海拔表示板に関しては、当初の目標値より多く設置でき、津波への関心を高めたとと思うが、要望によってはさらに設置していく必要がある。	防災計画に関しては、今後国・県の見直しに準じて見直す必要が出てくるので対応できるように体制を整える。 防災マップに関しては、地域住民の生活に応じた避難路・避難場所をパターン化し、様々な災害を考慮し、より避難しやすいように工夫すれば防災環境がより向上すると考えられる。 海拔表示板に関しては、軽微な損傷が見られているので維持管理が必要である。
今後の取り組み方針		
今後、住民等からの意見も多く取り入れ、防災に関する公助・共助・自助の取組みを積極的に行っていく。 また、防災マップの役割について住民等に対し周知していく。 海拔表示板の損傷等を防ぐため、管理を徹底していく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,768	8,768	7,014	1,754	

大宜味村

8,768千円

委託料

8,768千円

株式会社 リック

8,768円

大宜味村地域防災計画の見直し
防災マップの作成
海拔表示板の設置

(委託業務)

資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は過去に同様な業務の実績のある業者、または他村で、指名されている業者を選定し、指名競争入札において落札者を決めており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途は全て委託料であり、事業目的に即し真に必要なものである。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		大宜味村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		4- 災害に強い県土づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (4) - イ			
担当部課名		総務課		事業実施(予定)年度 平成 2 5 年度		社会リスクセーフティーネットの確立			
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 10 - (2)			
事業内容		大宜味村はグリーンツーリズム、トレッキング、川遊びなどが盛んで域外からの来訪者も多く、安全なレジャー環境確保と下流集落の浸水防止を図るため、河川沿いに自生している雑木の撤去を行い、倒木等による河川の閉塞、冠水等を未然に防止する。							
実施方法		■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況	(a)当初予算額		2,287				
			(b)予算現額		2,287				
			(c)増減額(b-a)						
			(d)繰越額						
			A.計(b+d)		2,287				
		B.執行済額			2,007				
		うち交付金充当額			1,605				
		次年度繰越額							
		執行率(%) (B/A)			87.8%				
予算の状況の説明		・不要額が280千円発生しているが、社会保険料及び労災保険の不要に伴うものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。							
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		危険個所の確認	目 標	()	(10河川)	()	()		
			実 績		10河川				
		雑木撤去	目 標	()	(10河川)	()	()		
			実 績		10河川				
達成状況説明	6名の作業員で、12月～2月中で、計画どおりの10河川での倒木除去を行った								
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		雑木等を撤去し、倒木等による河川の閉塞、灌水を未然に防止する。	目 標	()	()	(10河川)	()	()	
			実 績			10河川			
		〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進捗状況説明	6名の作業員で、12月～2月中で、計画どおりの10河川での倒木除去を行った						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	区内での定期美化清掃作業への取組を行っているが、高齢化に伴い、作業内容や作業範囲が限定されるため、河川へ繋がる集落内水路からの、ゴミの浸入防止や、雑草木等除去作業への、協力・連携への体制づくりが課題である。	今後も取組を強化し、災害を未然に防ぎ、河川散策の安全性を高め、河川散策等のツーリズムに活かすことが必要。
今後の取り組み方針		
災害を未然に防ぎ、河川散策の安全性を高め、河川散策等のツーリズムに活かすため、河川に繋がる、集落内水路等の定期清掃作業がや区を主体としての集落内水路等の定期清掃作業への協力体制づくりを行っていく。		

資金の流れ										
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)										
		総事業費	交付対象 事業費	<table><tr><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>2,007</td><td>2,007</td><td>1,605 402</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,007	2,007	1,605 402
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費								
2,007	2,007	1,605 402								
大宜味村 2,007千円	共済費 64千円	普通傷害保険料 64千円	〔作業人夫賃金に対する 普通傷害保険料〕							
	賃金 1,421千円	作業人夫賃金(6人) 1,421千円	〔作業人夫賃金6人分〕							
	需用費 62千円	燃料費 62千円	〔作業車両、チェーンソー、草刈り機用〕							
	使用料及び賃借料 460千円	リース料 460千円	〔作業車両、チェーンソー、草刈り機用〕							
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明						
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○作業人夫賃金の採用については、公募により行っており、適正であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。						
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。								
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。								
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								